

新学習指導要領における 数学科「資料の活用」および「データの分析」 で育む統計的課題解決力授業

- 日時: 2009年12月27日, 28日
- 場所: 情報・システム機構 統計数理研究所 第5セミナー室
- 対象者: 小学校, 中学校, 高校の理数系教員

主催: 情報・システム機構 統計数理研究所

後援: 統計関連学会連合統計教育推進委員会

日本統計学会統計教育委員会, 数学教育学会, 全国統計教育研究協議会

連携機関: 東京都教職員研修センター, 千葉県教育委員会,

静岡県教育委員会, 埼玉県教育委員会, 愛媛県教育委員会,

北海道教育庁, 他

プログラム

12月27日 10時～ 17時 講義およびPC演習

- ✓ 知識基盤社会における統計の役割への理解
～ 新学習指導要領における統計内容の位置付け～
- ✓ 科学的問題解決のためのデータの取得方法,
データの種類への基礎的な理解
- ✓ データ分析実習
データハンドリングの考え方と表計算ソフトを使った
「資料の活用」, 「データの分析」統計基礎演習

- ✓ 問題解決のための統計学習教材と授業モデルの紹介

17時30分～ 20時 参加者と講師の意見交流会

12月28日 9時30分～ 14時45分 講義およびPC演習と質疑応答

- ✓ 「確率」と「標本調査」で何をどう教えるのか?
PCを使ったシミュレーション教材と授業での活用
- ✓ 「数学活用」の中でのデータの分析実習

* 旅費および滞在費の助成があります。

申し込みの締め切り 旅費助成が必要な場合: 2009年11月6日

必要でない場合: 2009年11月27日

申し込み先: 統計数理研究所 データ科学研究系 田村義保(tamura@ism. ac. jp)